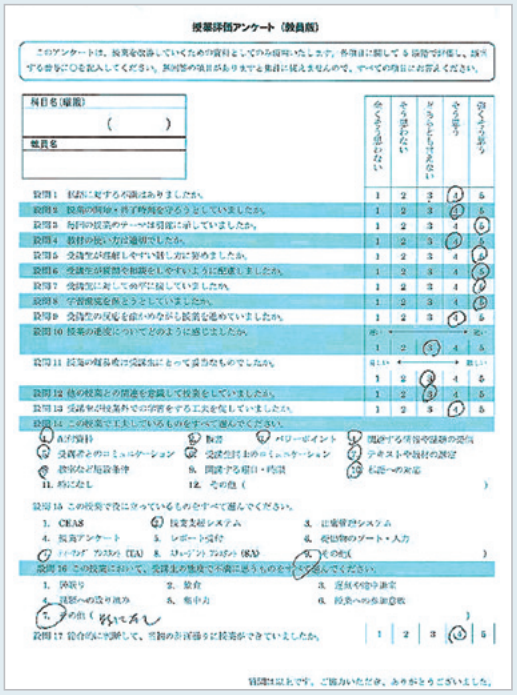
教育開発支援センターからのお知らせ

秋学期授業評価アンケート（最終アンケート）の実施について

関西大学では、各学期の中間（中間アンケート）と期末（最終アンケート）に授業評価アンケートを実施しています。最終アンケートの実施概要並びに昨年度からの変更点について、以下に記載します。

【実施概要】

実施期間：2012年1月5日（木）～1月21日（土）
実施様式：「講義系科目」「外国語科目」「その他科目」のいずれか（全て紙方式のみ）
用紙の配付：10月に実施した「実施に関する事前調査」への回答結果をもとに用紙を準備します。専任教員分の用紙はメールボックスへ投函し、非常勤講師分の用紙は講師控室にて配付します。



教員版アンケート様式

【変更点①】

教員版アンケートについて

今年度から、「講義系科目」「外国語科目」については「教員版アンケート」を実施しています。教員版アンケート用紙は科目毎に学生回答用紙とともにお届けしますので、ご回答をお願いします。

【変更点②】

フィードバックシートについて

今年度から、詳細なアンケートの実施結果を表わす「フィードバックシート」を閲覧できるようになりました。「フィードバックシート」は従来の単純集計に加え、「どの項目から改善すればよいか」の目安を表示しています。さらに、教員版アンケートに回答することによって、担任者と受講生の意識の違いも把握できるようになっています。

「フィードバックシート」は「インフォメーションシステム」内の「授業評価アンケートシステム」からご覧ください。

その他、授業評価アンケートに関するお問い合わせは、教育開発支援センター（第2学舎1号館1階）までお尋ねください。　（CTL事務局）

From CTL事務局

CTL事務局では、ニュースレターの編集に加えてフォーラム・セミナーの運営や各プロジェクトにおける意見提言等、幅広く業務を行っております。いわゆる「教職協働」を具現化した組織と言えるかと思います。

FDに「教職協働」つまり職員の関わりは必要ない、という意見もあります。確かに、FDは「Summer Cafe」「スタディスキルゼミ担当者情報交換会」「ランチョンセミナー」のような教員同士の交流の場づくり、及びそのような場を土台として実現出来る教員の能力開発のことを指します。したがって、FDは教員が推進すべきものだと考えることも出来ます。とはいえ、職員はスケジュール調整や会場設営、議事録等資料作成を行っていれば十分なのでしょうか。

例えば「授業支援グループ」に所属する職員は、リアルタイムで教員のニーズや教育現場で生じる問題点に触れています。職員がこのようなニーズや問題点をプロジェクトのメンバーとして発信することがFD推進に有用な場合もあると考えます。また、SA,TA,LAのように授業内外で教員や学習者を支援する学生スタッフが多数活躍していることも見逃せません。つまり、学生や職員も十分FDを推進しうる（している？）と言えるのではないでしょうか。

本ニュースレターは、教員だけでなく学生、研究員、職員も執筆しています。その狙いは「本学のFDは『教職協働』を超えて取り組んでいる」ことをお伝えする点にあると言っても過言ではないかもしれません。特に今号は各執筆者の溢れんばかりの魂を通常の4ページに収めきれず、ページを増やしてお届けすることとなりました。今号の記事を全てご覧頂き、本センターのFD魂（?）を感じて頂ければ望外の喜びです。今後とも本センター並びにニュースレターを宜しくお願い致します。

（喜）

THINK × ACT 関西大学 KANSAI UNIVERSITY

関西大学 教育開発支援センター Kansai University Center for Teaching and Learning
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35　TEL: 06-6368-1513　FAX: 06-6368-1514
http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/index.html

発行日／2011年12月16日　編集・発行／関西大学教育開発支援センター